

# ゆいのもり通信

## 2010 No.17

2010年10月1日発行  
ゆいのもり編集委員会  
昭島市田中町1-19-4  
TEL042-545-5451

## 障害者自立支援法事業に移行して6ヵ月

### 何が変わり、何が変わらなかったか。

テーマごとに利用者の感想をもとにまとめてみました。  
**不安だったけど…**

「不安でした。手続き、自己負担、今まで通りサービスが受けられるのかと。でも大丈夫だった。安心しました。」という言葉に代表されます。

**面倒です…**

「受給者証の更新が面倒です。」「市役所に行くのが苦手です。」

**利用料が発生…**

ゆいのもり全体で3名の方に利用料が発生しました。1名は利用を中止しました。1名の方は、「利用料が発生してびっくりしました。」と言います。

**何が変わりましたか**

「就労移行を選びました。シフトが多くなりました。」「就労移行を選んでます。きめ細かいサービスを受けられるようになりました。」「就労移行です。ゆいのもり全体で就労プログラムを行っています。皆で集まるのでモチベーションが高まります。」「就労継続を選びました。活動の中身はあまり変わっていません。」

**つつじが丘団地内につつじが丘作業所を開設しました。**

ザ・サードゆいのもり社は利用者が大変多いので、新たな場を開設しました。今はまだ細々と弁当・トーフ・パンの販売と喫茶サービスを行っています。秋からは面積も広くなり、室内作業・清掃作業と本格的事業を開始します。利用者からは、「つつじのお店の仕事が楽しい。勉強になる。」という声が出ています。

**経営的には…**

事業移行する前は、経営的に成り立つのか、本当に不安でしたが、自己負担の軽減措置により、移行する前と変わらない通所者数を確保でき、収入は移行前より増えています。今のところ、やれやれというところです。

**業務量は…**

きめ細かな支援、請求業務と職員の仕事量は増大。現場は多忙を極めており、マンパワーの充実が課題です。

**資金的には…**

給付費が2ヵ月遅れで入ってくるので、運営つなぎ資金の工面が大変です。金融機関から借入れをしました。この借入を返済し、つなぎ資金を自己資金で確保できるようになることが目標です。

**今新たに想うこと**

障害者自立支援法により、働くこと、就職することがとても重視されてきました。出来る限り働くこと、就職したいという夢を実現することは良いことです。

最近、同業の仲間が言っていました。「重い人を受け入れようと思って事業を進めてきた…。死なないで生きていくための支援をしている。」と。ふと、ゆいのもりを始めた時の思い「入院ではなく地域で暮らせるように、一人ぼっちでないように」を思い出しました。仕事はむずかし方でも障害がしんどい方でも、支援をしていきましょう。それがゆいのもりですよ。

(法人事務局長 浅川勤)



**現在のゆいのもり2事業所の利用者数**

■ザ・サードゆいのもり社

就労移行支援事業11名、就労継続B型75名

■食工房ゆいのもり

就労移行支援事業11名、就労継続B型25名

**就労移行支援事業 利用者募集**

ザ・サードゆいのもり社、食工房ゆいのもりともに若干名募集します。2年間かけて、就職を目指します。

・ザ・サードゆいのもり社 042-542-6776

・食工房ゆいのもり 042-542-5160

# さらに充実！食工房のプログラム

2010年4月より、ゆいのもり全体が、障害者自立支援法の「就労移行支援事業」と「就労継続支援事業」を開始しました。それにともない、食工房ゆいのもりでも、就労移行支援を希望するメンバーが11名、就労継続支援を希望するメンバーが22名の計33名（9月現在）の利用者さんが通所しています。

障害者自立支援法の事業に移行して、活動内容は、どんな点が変わり、どんな点が変わらなかったのでしょうか。メンバーの感想などを交えてご紹介します。



リッチにホテルで暑気払い！

## ■ 今までどおりに通えて、 ほっとしています

「手続きや利用料の点でどれほど“悪く”変わるのかと不安でしたが、今までどおりに通えて、ほっとしています」と語るTさん。受給者証の申請はありますが、そのほかには、利用者さんに手続き上の大きな負担は今のところ見られません。

一方プログラムは、昨年度までと比較して、変わった点が2点あります。

1つは、就労移行支援を受けているメンバーに、就労支援の一環として、毎日の作業の中で日常的に就労を意識した訓練を行うようになったことです。

またサードゆいのもり社と合同で、毎月第2木曜日を「就労プログラムの日」と位置づけて、種々の講座を行っています。たとえば、初回は自己紹介を兼ねて就労への夢を語り合いました。各自の就労体験や自己PRなどを「3分スピーチ」として発表したり、ハローワークや障害者職業センターの職員を招いて、「就労支援機関に学ぶ」、「ビジネスマナー講座」などを開催しています。今後は「自分の職歴をふりかえる」などのテーマを予定しています。

就労移行支援を希望するメンバーはもちろんですが、いまはまだ就労は考えない、という「就労継続」のメンバーからも「がんばる移行組の姿を横目で見ても、ちょっとだけど、自分でも就労を考えるようになりました」と

の声も聞かれます。

## ■ 目標に沿ったプログラムで 楽しく有意義に

2点目は、金曜日にパン・カフェの営業を行わず、その代わりに金曜日ごとにさまざまなプログラムを実施している点です。

今年のプログラムの特徴は、「健康」、「日常生活の充実」、「体力作り」などの大きな目標を掲げて、それらの目標に沿ったさまざまなプログラムを用意していることです。例えば、「健康プログラム」では、ウォーキング、健康外食、料理、スポーツの4分野について、年度の初めにメンバー全員で希望を出し合い、予定を決めました。

「ホームグラウンドの昭島市内を、食工房で出会った人たちと歩くのはおもしろかったです」と語るのは、ウォーキングに参加したMさん。



自然食レストランで食事会

さらにプログラムの形態も、日常マナーや身だしなみを考える“講座・学習会”、カラオケやメンバー手作りのお菓子を楽しみながらのお茶会など、“メンバーの交流を深めるレク”、メタボを予防したりからだを動かすための“スポーツやウォーキング”、健康的な食事を食べたり作ったりする“健康プログラム”、日常生活を豊かにする“日帰り旅行や一泊旅行”など、バラエティに富んでいます。さらにメンバー全員参加のミーティングや、大掃除も、例年通り毎月1回開催しています。

「講座やレクも気に入ったものがあれば、参加したい

ですね。たとえば、サイクリングツアーなんてあったら、家から1時間をかけてでも、自転車で来ますよ」との声もありました。

## ■ 金曜プログラムでは…

たとえば6月に行ったボーリング。これは、「生活充実」を目的に行ったプログラムです。11名のメンバーの参加がありました。引率の職員ともども盛り上がり、2ゲーム行いました。ボーリング好きなメンバーさんは皆さんじょうずで、ストライクのときはみんなでハイタッチ!! 優秀賞・特別賞などが授与されました。

仕事の間では真剣に作業に取り組むメンバーですが、プログラムの場ではこのように、メンバーも職員も、喋って笑って騒いで、和気あいあいに盛り上がっています。

また、7月に行った「日常生活マナー講座」は、全員必修の講座でした。「あいさつ」をテーマに事前にメンバー全員にアンケートをとりました。

その結果、「あいさつは苦にならない」、「食工房に来て

あいさつができるようになった」、という人もいる反面、「まだ苦手」という人もいて、苦手な人には、なぜ苦手なのかを話してもらい、みんなでその気持ちを理解したり、あいさつが得意な人から苦手な人へのアドバイスをもらいました。アンケートからは、食工房に通所した時に、工房のドアをあけてあいさつする人が少ない、という意外な結果も浮かび上がりました。

## ■ もっともっと充実させたい

「人が大勢集まる場所は正直苦手。だから全部出なさい、といわれると困りますが、いろんなプログラムがあれば、その中から選べるので、種類はたくさんあった方がいいですね」と語るメンバーもいました。

今年は、ゆいのもりが障害者自立支援法の法内事業に移行して、最初の1年です。まだまだ手探りの部分も多いのですが、どのようなプログラムがメンバーさんにとって楽しめて、また有意義なものであるかを考えて、さらに充実させる予定です。

## ● 食工房の新職員紹介

4月より新職員2名、新パートさん5名が加わり、食工房もよりにぎやかになってきました。常勤職員、非常勤職員の合計13人の職員が、力を合わせて働いています。

### 大きいからだに小さい心!?

#### 日向弘樹 (22歳)

本年4月より、食工房に入職いたしました「大きい体に小さい心!」日向弘樹と申します。



福祉系の大学を卒業し、この春より社会人として新しい一歩を進み始めることになりました。すべてが新しいことばかりで、戸惑うことばかりではありますが、職員の方やメンバーさんたちから、この仕事について多くのことを学ばせていただいています。食工房を盛り上げるため、頑張っていきますのでよろしくお願いいたします!

### 日々助けてもらいながら

#### 相川沙織 (23歳)

4月より食工房に入職しました相川沙織です。大学では精神保健福祉を専門に学んできました。



食工房では先輩職員だけでなくパートの方・メンバーの皆さんなど、食工房にいる皆さんにとっても良くしてもらい、日々助けてもらいながらですが頑張っています。働いてから感謝することが増えたなあとしみじみ、有難いことだと思っています。今後もみなさんと一緒に頑張っていきたいのでよろしくお願いいたします。

## パートさん紹介

①主な仕事内容 ②勤務曜日・時間

岡本綾野さん ①パン計量・事務・ピップ物流など

②火・水・木・金

佐々木章子さん①窯作業・パン成形・仕上げなど

②火・木曜日 8:00~11:00

澤井かよ子さん ①パン成形・パン計量など

②月・木曜日 9:00~13:00

吉田浩子さん ①パン計量など

②月・水曜日 9:00~13:00

澤邊美津子さん①カフェ業務

②月・火・木曜日 15:00~18:00

# 手作りのお店 ゆいのもりは 6月15日につつじヶ丘団地商店街(6-108)にオープンしました!



食工房ゆいのもりのパンをはじめとして、スーパーやコンビニでは決して買えない手作りの商品を取りそろえました。

パンやケーキなどごいっしょにコーヒーをめしあがっていただけるお席もございます。ご来店をお待ちしています。

## とうふ屋とおんの豆腐製品

地道なリヤカー販売等でごんばっています! 熱烈なファンが、このお店にもお買い求めにきてくださっています。



## ぷーやん日替わり弁当 (月曜日・木曜日)

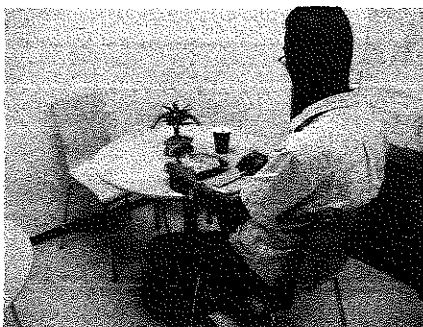
季節の地元の野菜を使い、心を込め、作らせていただいております。今後とも末長く、ごひいきの程お願い致します。ぷーやんあしながくらぶ

弁当製造代表 杉山慶子



## このお店で働くメンバーの感想は...

楽しい。時給が高くてうれしい。  
接客をやるのかと思っていたが裏方の仕事がメインで安心した。



**営業日** 月・火・水・木

**営業時間** 12:00~15:30

手作りのお店 ゆいのもり (つつじヶ丘店)

TEL 042-545-5451



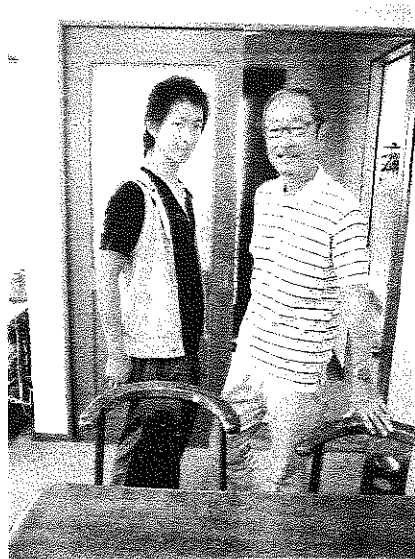
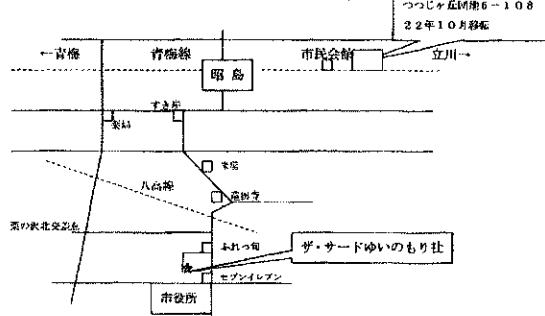
ゆいのもり社

2010年10月15日より、  
ゆいのもり社は田中町から、昭島市つつじヶ丘3-5  
6-108へ全面移転をします。

\*〒196-0012 TEL042-545-5451 (変更無し)  
しばらくの間、ご不便をおかけするとは思いますが  
どうぞよろしくお願ひします。

～ゆいのもり社新職員の紹介～

ザ・サードゆいのもり社 案内図



名 前 石井 一輝 (写真左)  
生年月日 1987年8月1日 A型  
趣味・特技 サッカー、水泳、スキー、バイク  
まだまだ未熟者ですが、ゆいのもりを利用する  
全ての方が快適に利用できる、“ゆいのもり”を目  
標に日々精進していきたいです。

名 前 富川 勝義 (写真右)  
生年月日 1945年11月1日 O型  
趣味・特技 音楽鑑賞 (ジャズ)  
65才目前ですが気持ちだけはまだまだ若くいたいと  
思っています。家族からはチョイ悪親父と言われている  
みたい (笑)

名 前 中司 睦美 (写真右)  
生年月日 19\*\*年11月16日 B型  
趣味・特技 スノーボード、昼寝  
これからも、皆さんと明るく楽しく仕事をしていき  
たいです!!

名 前 川村 亜有美 (写真中央)  
生年月日 19\*\*年11月11日 A型  
趣味・特技 ドックラン巡り、転勤先での観光地巡り  
転勤で4月から東京に来ました。仕事も遊びも満喫  
したいです。



名 前 杉本 芳江 (写真左)  
生年月日 19\*\*年2月11日 A型  
趣味・特技 お菓子作り、家庭菜園  
おいしい物を目の前にして、日々食欲と戦っています。

職員一同、ゆいのもり社を盛り上げていくので今度ともよろしくお願ひします。

## 『喫茶の仕事はチームワーク』 M.K

一日で一番忙しいランチタイムとは、市役所の職員の方のお昼休み12時から13時までの喫茶にいらしていただける1時間のことです。ランチを食べに来て頂けるほとんどの人が市役所の方です。今は仕事もひとりずつ担当をその日のメンバーで決めて、ひとはランチとドリンクを運ぶ専門の人、ひとは、その人に指示を出しひとり分づつランチをトレーにのせてすぐに運べるようにセットする人、その日によって2～3名でオーダーをとる人、ドリンク作り専門の人と分けています。

ランチタイムの忙しさは異体同心のチームワークがなくてはやっていけないとも思っています。異体同心とは、ひとりひとり仕事を別の角度から見て個性が違っていてもひとつの目的に向かう心は同じという意味です。

喫茶の仕事でうれしいのは、お客さんに『おいしかったよ』と言われる時です（厨房で働く皆さんの苦勞のこがあって自分で作っているわけではないですが）。

そして食事の後ドリンクを飲みながらお客さんが楽しそうにおしゃべりをしている時です。それと（早番で）13時を告げるチャイムが鳴った時です（早番は13時までの仕事なので）。ヤッター終わったーと嬉しくなります。

これからも失敗してもめげずに自分なりにがんばります。

## 『一般就労をして』

太田 伸一

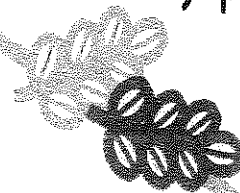
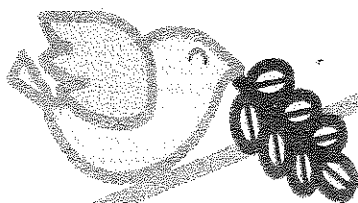
私は今年の2月から、青梅市就労支援センターを通し、福生市にある「特別養護老人ホーム」にステップアップ雇用制度を利用して働き始めました。仕事の内容は、特別養護老人ホームの清掃業務です。勤務は1日3時間・週4日でかなり理想に近い感じで働いています。

働き始めた頃は、毎日が緊張の連続でした。その間、幻聴や過呼吸みたいな症状が出て、自分で思うよりもストレスがあったのだと思います。それでも施設長が少しずつ、確実に作業の内容を明確に示してくれたおかげで、今では1Fフロア全体の清掃が出来るようになりました。清掃作業の手順や他の基本動作については、ザ・サードゆいのもり社でやってきた、ピップ物流や、あいぽっくの清掃などが大いに役に立っています。

社会復帰を促してくれた、青梅市就労支援センターやザ・サードゆいのもり社、また多くのメンバーのみなさんにはとても感謝しています。



ザ・サードゆいのもり



### 『ゆいのもりグループカウンセリング』きこり会 “の再開”

きこり会メンバー

昨年まで行っていたきこり会ですが、職員の異動もありしばらく休止となっておりますが、この7月28日今年度第一回目がいよいよ再開致しました。職員は、ザ・サードゆいのもり社の安藤さん・横倉さんが担当になりました。昨年度から参加してくれたメンバー・OB・職員総勢10名が今後どのような会にしていくかを話しあいました。

- ・ ディスカッションをする場
- ・ 遊びに来た、会いに来た、交流の場
- ・ 来て楽しかった、心が軽くなった、そんな場を大切にしていきたい。

これからどのような会になっていくのかと思うと、とワクワク、ドキドキ、楽しみにしています。

## ザ・サードゆいのもり社

## 新人職員紹介♪

平成22年4月よりザ・サードゆいのもり社（サード部門）では、2人の新人職員が入职致しました。そんな新人2人より自己紹介をさせていただきます！！

名前：安藤 聡美

誕生日：1987年8月18日

血液型：A型

趣味：楽器を弾くこと、映画鑑賞、自転車で散策すること

一言：今年の4月よりサードで働かせて頂いています。まだまだ不慣れな所も多くありますが、先輩職員の方や沢山のメンバーさんに支えて頂きながら、楽しく働いています。少しそっかしい所もありますが、宜しくお願いします。



名前：横倉 彩乃

誕生日：1986年12月21日

血液型：A型

趣味：ピアノ、寝ること、カフェ・お寺巡り、工作

一言：初めまして！横倉と申します。まだまだ失敗の多い毎日ですが、沢山の皆さんに支えられながら、楽しくお仕事をさせて頂いています。これからも頑張っていきますので、どうか宜しくお願いします。



就労を希望するメンバーで、そろそろ就労が間近い方は、一度は「オープナー」さんにお世話になります。今回は、就労支援を柱にすえて活動する「就業・生活支援センター オープナー」の紹介です。

ひとりひとりの「働きたい」を応援します！！

## 就業・生活支援センターオープナー

### 「就業・生活支援センター」とオープナーの特徴

障害者雇用促進法という法律にもとづき、各都道府県に設置されているセンターです。都内には5ヶ所あり、多摩地域には2ヶ所あります。オープナーはそのひとつです。広域をカバーしていますので、どの市町村にお住まいの方もご利用いただけます。母体の法人「多摩棕櫚亭（しゅろってい）協会」が長年、精神障害者の支援してきた団体ということもあり、精神障害の方の利用が多いのが特徴です。

### オープナーではさまざまなステージにあわせてサービスを提供しています！！

#### ★就職をする前

就職したいけれど、どうすればいいの？

⇒障害者雇用の動向や制度について情報提供します。職歴や病歴や希望を聞き取りさせていただきながら就職までの計画を一緒にたてます。

すぐに就職する自信がないのだけど…

⇒就労支援施設、職業訓練、企業実習などをご紹介します。これらの訓練を通じて自分のセールスポイントや弱点を知る事は職探し・仕事を続ける上で大事なことです。



#### ★就職活動

履歴書はどう書いたらよいの？面接が苦手…

⇒書類の書き方のポイントやコツをお伝えします。ハローワークへの同行や面接の模擬練習も行います。就職活動は長丁場です。モチベーションを落とさないように応援します。

#### ★就職が決まってから

仕事が覚えられるか、会社のひとと上手くいくか心配…

⇒ジョブコーチというスタッフが1～3ヶ月間職場に同行し、支援をします。具体的には、仕事を覚えるためのマニュアル作成や上司との関係づくりなどなどです。

#### ★就職後

調子を崩してしまった…

⇒必要に応じて会社との間に立ち、休暇のお願いや仕事量の調整などのお手伝いします。また復帰が難しい場合はうまく辞めることも大切なことです。再就職の支援も行います。

#### センターinfo

◎国立市富士見台 1-17-4 JR 南武線谷保駅下車徒歩 3 分

◎TEL 042-577-0079

◎月曜～金曜（土日祝をのぞく）10:00～18:00

◎登録制、面接は予約制

◎利用料・相談料はかかりません

利用のお申し込みは所属している施設の職員さんにご相談の上、お電話をください。

#### 編集後記

「まだ先だと思うと、あっという間に締切がきちゃうよ！」といわれ、「ホントに？」と思っていたあの頃…。本当にあっという間に締切がきちゃいました！時間とは恐ろしい…。(!黒パン屋!)